AUTODESK INVENTOR 体験版プロジェクト

CAD 相互運用性

ロボット グリッパーの 2 次元 DWG から 3 次元モデルを作成する

パート1: CAD 相互運用性



Inventor で、リボンの[プロジェクト]アイコンをクリックします。プロジェクト ファイルの保存先に移動して、*300730-000.ipj*を選択します。*Standard (mm).ipt* テンプレートを使用して新しいパーツ ファイルを作成します。



.DWG の配置用にパーツの既定の原点を選択します。

Thus I have

パーツ ファイルを保存して続行します。 Data フォルダーから **300730-001**. **dwg** ファイルをインポート([読み込み])して、XY 平面に配置します。



ブラウザーで **300730-001.dwg** を右クリックし、[変換]を選択して再配置し ます。



パート1: CAD 相互運用性

を選択し、コマンドを終了します。



図のように、2本の線分間に 6mm の被駆動寸法を挿入し、[スケッチを終了]を クリックします。



page: 3

パート 1-2: CAD 相互運用性





page: 4

パート2: CAD 相互運用性



I AUTODESK[®] **INVENTOR[®]**

page: 5

パート 2: CAD 相互運用性

19.



アセンブリ ファイルを保存して、AutoCAD に切り替え、元の .DWG ファイル を表示します。

ሰ 💆	🔁 🛍 = 🛼 🚳 🛛	· 🔫	🎯 外観	🔤 🗣 🔩 J	- + ₹ A	utodesk Invento
ο モデル	√ ローカル更新			Va	ult Autodesk A	360 エレメカ
	アクティブ パーツ、またはサブアセンブリとそれに従属する子のみを再生成する ローカル更新を実行します。				□□ □ 軸 □□ □ 和 ◆ 点	געיבליגיע בעי
	ヘルプを表示するには F1	† -		¢ •	🖓 🛴 UCS	/ /////////////////////////////////////
	関係 ▼	パターン 🔻	管理 ▼	生産性	作業フィーチャ	簡明
[コーカル更新]コマ	ンドを使用	して、.DWG	ファイルに	加えた厚さの	変更が想定

どおりにアセンブリに引き継がれていることを確認します。



dl 寸法を編集して、パーツの厚さを l2mm に設定します。 AutoCAD ファイ ルを保存し、Inventor アセンブリ ファイルに戻ります。



すべてのファイルを保存して終了します。





Autodesk、オートデスクのロゴ、AutoCAD および Autodesk Inventor は、米国およびその他の国々における Autodesk, Inc. およびその子会社または関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。

Autodesk, AutoCAD, Autodesk Inventor, and the Autodesk logo are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and/or other countries. All other brand names, product names, or trademarks belong to their respective holders. Autodesk reserves the right to alter product offerings and specifications at any time without notice, and is not responsible for typographical or graphical errors that may appear in this document.

© 2018 Autodesk, Inc. All rights reserved.